●東京都町村議会議員講演会（東京都） 山下 則子
令和7年5月7日 15時00分～17時00分

目的：議員の研修

演題 「議員と住民の距離を縮めよう」～なり手不足から主権者教育まで～

講師 拓殖大学政経学部 河村和徳教授

成果

どこの議会もなり手不足に直面していると思うが、なるべく定数は減らさない方向で考えるべきである。なぜなら主権者からの代理人として民意を反映するには、一人でも多くの議員が議論するのが付託を受けた者としての責任である と思った。

主権者教育を児童生徒の時からしていくことが大事で、それには議員と事務局で出前授業に出かけたり、子ども議会を開いたりすることも一案ではないか。講師の「未来の納税者に責任をとるのが今の私達（議員）」との言葉が心に響いた。

また、議員報酬だけで家族が生活できる金額でないと、なり手不足は解消されないと感じた。